

外来担当医表

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	青山(龍) 高見	市原 田邊	松本 山口	市原 青山(龍)	松本 青山(龍)	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長 岡庭	第1,3院長 第2,4,5岡庭
	小児科	長江 木村	長江	長江 木村	木村	長江 木村	長江 木村
	検査	胃カメラ 腹部エコー 松本			胃カメラ 腹部エコー 松本 頸動脈エコー		
午後 14:00~16:00	内科	市原	青山(龍)	市原	松本	山本	
	整形外科 外科						
	小児科	長江	長江	予防接種 乳児健診	木村	木村	
	検査	大腸ファイバー 松本・田邊 頸動脈エコー	心エコー 市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー	心エコー市原 シャント・ PTA		
夕方 16:30~17:00	小児科	予防接種				予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1,3,5越野 第2,4代務医		青山(龍) 小坂		松本 第1,3,5野口 第2,4杉山	
	整形外科 外科	岡庭		勝野		院長 岡庭	
	小児科	木村		木村		長江	

周辺地図



<職員募集> 看護師・准看護師募集中 担当 益田・菊池まで



笑顔

医療法人 青山病院

内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、血液透析センター
瀬戸市南山町1-53
TEL (0561) 82-1118
http://www.seto-aoyama.jp
小児科予約 http://b.inet489.jp/aoyam1118/



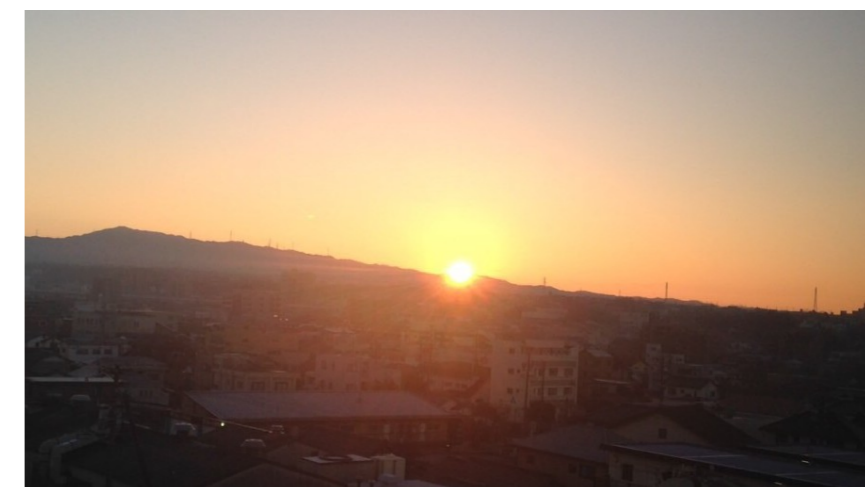
小児科予約用

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

丙申(ヒノカミ)年を迎えて

院長 青山 弘彦



当院屋上より撮影した初日の出

今年は丙申(ヒノカミ)年。干支の解釈では「果実などが成熟する年」とされています。昨年は超音波装置、高性能CT、フラットパネルレントゲン撮影装置などより精度の高い診断ができるような医療機械を新しく導入しました。今年当地区の上下水道が整備されたこと、施設の老朽化が目立って使い勝手が不自由になったこともあり、是非病院本館の建て替えに着手したいと考えております。職員が働きやすく、利用される方にも少しでも快適な環境を整えたいと思っています。また環境整備と共に、人的な充実もさせて行かなくてはと思っています。

「不易流行」という言葉がありますが、日進月歩の医学知見と医学技術に遅れないよう、時代に合ったより良い医療を心がけ、更なる満足して頂けるような病院づくりに努力してゆく覚悟です。そのため、建築プロジェクトを立ち上げ全職員力を合わせ、知恵を出し合って職員自身も自信を持って医療を行えるような地域医療を担う病院を目指していく心算であります。今後の国が推し進めている医療介護福祉の方向も、地域において地域の人々が、生まれ育った地域で安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築に向かっていきます。我々青山病院もその一翼を担って、自分の病院の置かれた役割、使命を十分自覚して、他の医療・介護・福祉の施設と協力して地域住民の方のお役にたてるように頑張っていきたいと思っています。

年頭にあたり、ご挨拶傍々今年の抱負を述べてみました。本年も宜しくお願い申し上げます。

X線検出器（フラット・パネル・ディテクター：FPD）を 導入しました



フラット・パネル・ディテクターは、レントゲンフィルムを使用しない方式でレントゲン写真を撮影する装置です。フィルムの現像が不要な為、撮影後わずか数秒で画像の確認が可能となります。また、従来の装置と比べ撮影に使用するプレートの交換などの作業もないため、多くの写真を、より迅速に撮影することができるようになりました。従来は撮影後に画像の取り込みに数分間かかっていましたので、撮影後の患者様の待ち時間も大幅に軽減されました。こうして撮影された画像は、直ちに画像診断装置へ転送され、画像モニターですぐに医師が診断に使用できます。また、最新の技術によりX線情報の損失が少なく、画像も以前と比べて詳細になり、患者様の被曝低減にもなります。

メディカルクラークについて 木下 由葵奈

私は医療事務の専門学校に通っていたのですが、その中で青山病院の求人を見つけて、クラークと言う職種を知りました。

最初は医療にかかわった経験もなく知識もなかったので、何をすれば良いのかもわからず戸惑いの毎日で涙する事もありました。今でも一緒に働いているスタッフの皆様には迷惑をかけてしまい、日々勉強の毎日ですが、とてもやりがいを感じています。

主な仕事内容は診療補助・検査伝票の整理・翌日検査のカルテ出し・CT読影の準備、片づけ・伝票、印刷物の請求を行っています。患者さんと接する機会もたくさんあり、内科の患者さんはお年寄りの方が多いため、少しでも分かりやすいよう、聞きやすいようにゆっくりとお話するように心がけています。そして、忙しいときでも笑顔を忘れずに、仕事を行っていきたいと思っています。

まだまだ至らないところばかりですが、これからも努力して頑張っていきたいと思えます。

～病院で見たあの道具～

これなあに？

病院で使われる道具を
クイズ形式で紹介します

この機械は何をするものでしょう？

ヒント

この機械は写真のように耳にに入れて使います。

答え

耳鼻鏡(じびきょう)といって、耳と鼻を診察する器具です。写真上右側にあるスペキュラというキャップの様な物を装着して耳、鼻をみます。ライトをつけて拡大して見る事が出来、安全にしっかりと観察することが出来ます。写真上左側の送気球で、耳に空気を送って鼓膜の動きを見ます。

